

科 目 名

日本美術史 History of Japanese Art

1年 通年 4単位 選択

中 西 真美子

概 要

日本の美術は近世以前においては主に中国や朝鮮半島など東アジア文化圏の他国から技法などの多くの要素を学んで消化し、近代以降は西洋の美術にも目を向け様々な要素を受容・摂取して、社会全般の動きに呼応しながら史的な展開を遂げてきた。それぞれの時代にはそれぞれの美術が生まれ、そして新しい動きとともに次代の美術にとってかわられていく。

本講義では日本美術における時代ごとの様式の盛衰を各時代の彫刻・絵画・工芸などの代表的な美術作品を通して概観するとともに、その中に流れる一貫した日本的なものがあるのかどうか、ということについても考えてみたい。

目 標

日本美術について基礎的な知識を身につける。

授業計画

テ ー マ	内 容
① 飛鳥・白鳳時代の美術	仏教伝来と美術
② 天平・貞観時代の美術	中国文化の移入と美術
③ 藤原時代の美術	日本の美術の成立
④ 鎌倉時代の美術	武士的なものの見方
⑤ 室町時代の美術	禅宗と美術
⑥ 桃山時代の美術	信長・秀吉と美術
⑦ 江戸時代の美術	武士・町人と多様な美術

評価方法

学期末の定期試験と出席状況により評価する。

教 材

特にテキストは使用しない。参考文献その他については授業中に適宜紹介していく。